

みんなで“まちを育てる”フォーラム 市民ワークショップ

第8号

かわら版

平成27年8月
発行：岩手県立大学
盛岡短期大学部
内田研究室



サケのまち宮古PRキャラクター
サーモンくん&みやこちゃん

8月1日 第8回市民ワークショップが開催されました

昨年11月から7回にわたって開催されてきた「みんなで“まちを育てる”フォーラム」の第8回目の市民ワークショップが、8月1日（土）に開催されました。

今回は、これまで7回行ったワークショップの成果発表です。「私たちは、宮古のまちなかで、こんなふうに過ごしたい！」というテーマで、各班でストーリーをつくり、宮古市長にプレゼンテーションをしました。

ワークショップには、高校生、短大生から40歳までの年代の30名の皆さんに参加していただきました。当日の様子は宮古市ホームページにも掲載されています。



当日のワークショップに参加していただいた皆さん

市長へのプレゼンテーション「私たちはこんなふうに過ごしたい！」

今回は、過去2回のワークショップで示されたイメージを基にして、まちなかでの過ごし方について、改めて1つの「ストーリー」としてまとめる作業をしました。

そして、そのストーリーをシナリオ形式にまとめ、各班ごとに市長にプレゼンテーションをしました。それでは、それぞれの班が考えたストーリーを見てみましょう。



A班 「森・山・川と中心市街地をつなげる！」

宮古に初めて来た20代の男性。閉伊川の渡し舟から宮古駅の観光案内所へ。人力車で森へ行って自然体験を満喫。街にもどって、商店街で食べ歩き。足湯のある「動物カフェ」でひと休み。市庁舎の跡地は野外音楽堂となっており、バンドや伝統芸能のステージイベントが行われています。



B班 「1日宮古でEnjoy Summer!!」

お父さんお母さんと子ども2人の4人家族のお出かけ。末広町では復興市のようなイベントをやっています。お父さんと息子は、釣り船発着所から海釣りへ。市庁舎の跡地では、子どもたちが水遊び。音楽フェスなどのイベントもやっています。夜には、週替わりで「屋台バトル」！



C班「デートも、文化も、酒も 約4kmのみやこ物語」

高校3年生が浄土ヶ浜からマラソンをスタート。閉伊川沿いの芝生では、市民が思い思いに過ごしています。旧市庁舎の跡地ではカップルがデート。「僕もいつかは、ああいうふうにお酒を楽しみたいな…」。分庁舎跡地には、親子連れが来ていて、本を読みながらリラックスして過ごしています。



D班「四季を楽しむ！！In宮古」

市庁舎跡地を四季公園に！
 春…桜が咲く公園で花見やバーベキュー
 夏…駅から公園まで車を走らせ観光船で楽しむ
 秋…週末に産直屋台が出て旬の味を
 冬…公園全体にイルミネーション。多くのカップルが集まり、宮古の「恋人の聖地」に。



E班「学生・社会人・家族・高齢者」 ×「平日・休日」×「春・夏・秋・冬」

- ・シーサイドカフェ…学生×平日学校帰り×秋
- ・交流スペースで将棋…高齢者×平日×春
- ・サイクリング、釣り、BBQ…家族×休日×夏
- 市庁舎跡地を「ひろば遊び」のパイオニアに！
- ・イベント会場…社会人×休日×冬

山本市長、植田先生、北原先生からのコメント

最後に、皆さんの発表を聞いた山本市長、植田先生（宮古短大）、北原先生（弘前大学）からコメントをいただき、今回のワークショップは終了しました。

山本市長より

どのアイデアも、ほとんど実現可能だと思います。それぞれの班が別々にやっっているながら、共通したイメージがありました。みんなの想いの実現に向けてがんばりたい！

植田先生より

今日のアイデアや市民が参画するワークショップの取り組みは、”まち・ひと・しごと”といった地方創生を考へるうえでも参考になりますね。

北原先生より

「何がほしいか」ではなく「何をしたいか」について、自分の言葉で表現できたのは良かったです。使うイメージがあれば、整備の方法は多様です。今後もぜひ継続を！



左から、北原先生、山本市長、植田先生

今後の予定

この「みんなで“まちを育てる”フォーラム」は、今回で一区切りとなります。10月以降、これまでに示されたアイデアを具体化していくための、次のステップのワークショップを開始する予定です。これまでの参加者の皆さんには、予定が決まり次第連絡いたします。今後のワークショップにも、ぜひご参加ください！



問合せ先：宮古市復興推進課（tel.68-9089）